

議 長 休憩を解いて再開をいたします。 (10時30分)

日程第9「議案第26号平成30年度松田町一般会計予算」を議題といたします。

町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第26号平成30年度松田町一般会計予算。平成30年度松田町一般会計予算は次に定めるところによる。

(歳入歳出予算) 第1条、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ49億9,000万円と定める。

2、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(債務負担行為) 第2条、地方自治法第214条の規定により債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は、「第2表 債務負担行為」による。

(地方債) 第3条、地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第3表 地方債」による。

(一時借入金) 第4条、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は2億円と定める。

(歳出予算の流用) 第5条、地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおり定める。

(1) 各項に計上した給料、職員手当及び共済費(賃金に係る共済費を除く)に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

平成30年3月6日提出、松田町長 本山博幸。よろしくお願ひ申し上げます。

議 長 町長の提案説明が終わりました。これより細部説明に入ります。担当課長の細部説明を求めます。

参事兼政策推進課長 それでは説明をさせていただきます。6ページをお開きください。第2表債務負担行為でございます。最上段と3段目の住民基本システム用プリンター賃貸借料、それから3段目、卓上型シーラー賃貸借料につきましては、基幹系シ

システムの変更に伴いまして5年間の債務負担行為を設定させていただくものでございます。なお、年度の途中からでございますので、35年までの6年間となっております。2段目の総合行政ネットワーク設備機器賃借料につきましては、これにつきましても平成30年途中に賃貸借料の期間満了を迎えるものでございまして、新たに5年間の債務負担を設定するものでございます。先ほどと同様、年度途中からでございますので、35年度までの6年間となっております。すいません、6段目、子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料につきましては、平成32年度から始まる計画の策定に当たり、平成30年度、31年度の2年間で債務負担をさせていただくものでございます。それ以外に各町民文化センター、それから寄出張所、ハーブ館、以下11施設の警備委託料につきましては、平成29年、今年度末をもって5年間の委託期間が満了するために、平成30年度から新たに5年間の債務負担行為を設定させていただくものでございます。

続きまして、7ページ、第3表地方債でございます。地方創生施設整備事業3,900万円につきましては、県西地域活性化プロジェクト推進事業、それから女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業、複合拠点施設整備事業、文化センターでございますけど、の3事業に係る起債となっております。今年度の元利償還金に対する交付税の措置としましては、その30%が事業補正により、今年度地方交付税の基準財政需要額に算入されるものでございます。

斎場整備事業7,780万円につきましては、小田原市斎場整備負担金に係る起債になります。

続きまして、道路整備事業5,090万円につきましては、橋梁長寿命化事業や町道新設改良工事詳細設計委託を対象した起債となります。

交通安全施設等整備事業5,520万円につきましては、新松田駅南口駅前広場整備事業に係るものでございます。

公営住宅建設事業2億5,690万円につきましては、町屋地区の建設中がございます地域優良賃貸住宅建設に係る公有財産購入費に対するものでございます。

緊急・防災減災事業1,140万円につきましては、防災行政無線デジタル化事業及び全国瞬時警報システム新型受信機導入事業に対する起債になります。な

お、今年度の元利償還金につきましては、その70%が地方交付税の基準財政需要額に算入されるものでございます。

臨時財政対策債1億9,200万円につきましては、交付税原資の不足分を代替措置として町において借り入れるものでございます。こちらにつきましては元利償還、その全額が今年度交付税算入にされるところでございます。

続きまして、説明書に伴いまして歳入から順次説明をさせていただきます。新規事業及び重点事業、拡充事業等に説明をさせていただきます。なお、歳入につきましては、町税については税務課長から、それ以外の歳入については私のほうから説明をさせていただきます。歳出につきましてはそれぞれ所管の課長より説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。また、議案と同時にお送りいたしました平成30年度松田町一般会計予算説明資料、これをあわせていただくようお願いいたします。それでは歳入から。

税 務 課 長 それでは、14、15ページをお開きください。歳入でございます。町税全体では15億4,670万4,000円と、前年比1,269万3,000円、率にして0.8%の増となっております。

それでは税目別に説明をさせていただきます。款の1、項の1、目の1、個人町民税でございます。本年度予算額5億9,771万6,000円、前年度比272万1,000円、0.5%の減になっております。均等割につきましては、納税義務者数はほぼ横ばいでもございまして、2万3,000円増の1,965万6,000円となっております。所得割につきましては納税義務者数は増となっているものの、所得の伸び及び土地等の譲渡所得の減少により、約174万4,000円減の5億6,266万円となっております。退職所得につきましては、前年度と同様の720万円を見込んでおります。

次に目の2、法人町民税でございます。本年度予算額9,480万円、前年度比2,351万2,000円、33%の増となっております。均等割では法人の増減により、2法人が増となり、均等割額の大きい法人の増によりまして123万円増の3,182万円となっております。法人税割では29年度の法人町民税の申告状況から見まして、全体的に企業の業績の上向き傾向が見られます。それとともに、特に大手4社に大きく増収が見込まれまして、2,228万円増の6,288万円を見込んでおります。

続きまして、項の2、目の1、固定資産税でございます。本年度予算額7億7,456万8,000円、前年度比505万1,000円、0.6%の減になっております。土地・家屋において3年に1度の評価替えに伴う減と、特に土地に関しましては県内の住宅の地価は若干ですけれども上昇している傾向にございますが、県西地区においてははまだ下落幅は縮まっているものの、依然として下落方向にあるため、土地全体では303万8,000円減の3億9,099万5,000円となっております。また、家屋は新築家屋の増加分と新築家屋の軽減の終了によります増、それから家屋の滅失による減額等により、95万1,000円減の2億4,889万7,000円となっております。償却資産は企業の設備の新規購入、それから入れかえ等が一段落した状況になりまして、減価償却による課税額の減少により、106万3,000円減の1億2,636万6,000円となっております。

次に項の3、目の1、軽自動車税。本年度予算額2,565万9,000円、前年度比で70万5,000円、2.8%の増になっております。これは重課となる13年経過車両の増、それから環境負荷の小さい車両への1年間の特例が終了し、本来の税額に戻ったことと、新規購入、または買いかえにおいてですね、車両価格の安い、税の特例の対象とならない車両の買いかえのほうが多かったことによるものでございます。

次に項の4、目の1、町たばこ税。本年度予算額5,396万1,000円、前年度比で375万2,000円、2.8%の減になっております。これはですね、健康志向の高まりによる喫煙者数の減と、それから税率の低い加熱式たばこ、アイコスとかグローというものなんですけれども、これが全国展開されまして、コンビニなどで容易に手に入るようになったことによって、通常のたばこからの移行が進んでいる状況により、減収となっている状況から減額を見込んでおります。

以上で税関係の説明は終わらせていただきます。ありがとうございました。

参事兼政策推進課長

それでは、14ページ、地方譲与税から説明をさせていただきます。自動車重量譲与税でございます。自動車重量税4分の1のうち2分の1を道路延長、2分の1を道路面積により譲与されるものでございます。続きまして、地方揮発油譲与税でございます。税率、ガソリン1リットルにつき4.4円でございますが、県指定都市に58%、市町村に42%を、市町村道の延長面積で案分するもの

でございます。

1 ページお開きください。節で説明させていただきます。利子割交付金でございます。利子課税20.315%のうち5%が県税、県に納入されました利子割額のうち、5分の3を市町村へ交付するものでございます。法人県民税収入決算額の県内合計に対する割合で配分をされているところでございます。配当割交付金につきましては、配当課税20.315%のうち、やはり5%を県税、その99%のうち5分の3を市町村へ交付し、各市町村の個人県民税収入決算額に対する割合で交付されるものでございます。

続きまして、株式等譲渡所得割交付金でございます。こちらも、株式譲渡所得課税20.315%のうち5%が県税、その99%のうち5分の3を市町村へ交付、個人県民税収入決算額の県内決算額に対する割合で交付されるものでございます。

地方消費税交付金でございます。地方消費税を国と県が2分の1、3分の1、国調の従業員者数で案分するものでございます。

ゴルフ場利用税交付金、こちらにつきましては県が収納しましたゴルフ場の利用税10分の7を交付するものでございます。1人800円でございます。

自動車取得税交付金につきましては、自動車取得税の66.5%を市町村に配分するものでございます。こちらも市町村道の延長と面積の割合により、交付されるものでございます。

続きまして、地方交付税でございます。こちらにつきましては、普通交付税の中には地方創生の起債に対する30%の交付税算入を見込んでおります。平成29年基準財政需要額としまして22億2,382万1,000円、基準財政収入額としまして14億5,127万8,000円となっております。平成29年でございます。

1枚おめくりください。交通安全対策特別交付金でございます。道路交通法の反則金を原資としてでございます。過去2年間の交通事故発生件数と人口集中地区人口を用いて算出され、交付されるものでございます。

町税以外のここまでが国の地方財政計画に基づいて試算をされているものでございます。

続きまして、分担金及び負担金から説明をさせていただきます。民生費負担

金、保育所運営費負担金でございます。こちらにつきましては保育所160人で計上してございます。その下段、児童福祉費負担金につきましては、学童保育107人分の予算を計上してございます。

道路橋梁費の負担金、十文字橋償還費負担金、こちら開成町の負担分でございます。平成30年度が最終年次となります。

続きまして、体育施設維持管理費負担金90万円につきましては、酒匂川健康ふれあい広場維持管理負担金として、大井町と協定により、維持管理費の折半で負担しているところでございます。

続きまして、使用料及び手数料、総務使用料、町民文化センター使用料。ホール及び附属施設使用料として103万9,000円がふえております。これは文化センターのリノベーションが終わりましたので、貸し館としての利用料の増を見ております。町営臨時駐車場としまして、町営仲町屋臨時駐車場は127台、それからJR松田駅の駐車場については54台の駐車スペースを計上してございます。住宅使用料としまして、説明欄下から2つ目ですね、公的賃貸住宅使用料現年度分、こちらにつきましては籠場住宅4カ月分、一応90%で、入居率90%で見ております。地域優良賃貸住宅使用料現年度分につきましては、こちらについては町屋町営住宅1カ月分、90%で見てございます。その下、住宅施設使用料、新規でございすけども、公的賃貸住宅駐車場使用料につきましては籠場住宅4カ月、5台の90%で見てございます。地域優良賃貸住宅駐車場使用料としましては、こちらは町屋…すいません。町屋住宅、1カ月分で28台、90%で見てございます。

それから、民生使用料、行政財産目的外使用料83万8,000円、こちらは新規でございます。30年2月、ことしの2月に健康福祉センター屋上にUQモバイルのアンテナを設置しました。それに対する使用料を収入予定でございます。

それから農業使用料。農林体験施設使用料、36万9,000円のこれは減額になってございますけれども、こちらにつきましてはドッグランの指定管理に移行されたことに伴いまして減額となっております。寄ロウバイ園につきましては、昨年より100万ほどふえてございます。寄ロウバイ園の入場者料…入場者数の増を見込んでおります。2万人、ことしとほぼ同じ2万人を計上させてい

ただいております。西平畑公園使用料1,876万1,000円について、約400万円ほどふえております。こちらにつきましては西平畑公園駐車場料金を改正させていただいたものの増に伴うものでございます。

1枚おめくりください。20ページ、21ページでございます。土木使用料の土木管理使用料、道路占用料でございます。町道内の電柱や地下埋設管の占用料でございます。東電、NTT、東京ガスが主なものでございます。

教育使用料、節の2、教育施設使用料、幼稚園入園料として32人の予算を見込んでございます。幼稚園保育料としましては、松田91人、寄は4人の保育料を計上してございます。節の5、行政財産目的外使用としまして、こちらにつきましては町体育館多目的ルームの施設の使用料でございます。また、学校施設内の電話柱、東電柱を見込んでおります。

手数料につきましては、そこに戸籍とか住民基本台帳手数料、住民票ですね、それぞれの手数料を計上してございます。

続きまして、国庫支出金、国庫負担金の民生費国庫負担金、1、障害者福祉費国庫負担金。こちらにつきましては1,800万ほどふえてございますけども、障害福祉サービス増に伴う国庫の負担2分の1でございます。続きまして、節の2、児童福祉費国庫負担金。こちらにつきましても130万円ほどふえてございますけども、保育所入園希望する児童の数の増に伴うものでございます。

1枚おめくりください。22ページ、23ページです。児童手当国庫負担金の国の負担分でございます。3分の2の負担率でございます。また、3歳未満につきましても45分の37となっております。

続きまして、国庫補助金、総務費国庫補助金、節の2、企画費補助金、地方創生推進交付金でございます。県西地域活性化プロジェクトに1,800万円、女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業に2,700万円が主なものでございます。

民生費国庫補助金につきましては、障害者福祉費国庫補助金、障害福祉サービス増に伴いましてふえてございます。2分の1でございます。

続きまして、すいません、節の2、子ども・子育て支援国庫交付金でございます。さくら保育園の子育て支援センター設置に伴う国庫補助でございます。

続きまして、衛生費国庫補助金、節の3、環境対策費補助金、地方創生推進交付金、ここにつきましては230万円ほど減額してございますけども、YHVの減額に伴うものでございます。

続きまして、国庫補助金、土木費国庫補助金として社会資本整備総合交付金、こちらにつきましては2,250万円ほどふえてございます。すいません。2億2,540万円ほどふえてございます。町営住宅の…町屋町営住宅に2億約1,000万、橋梁長寿命化事業につきまして約2,000万、新松田南口駅前広場整備事業につきまして8,400万が主なものでございます。

続きまして、国庫委託金、民生費委託金の国民年金費委託金、国民年金事務委託金でございます。こちらにつきましては100万円ほど減額してございますけれども、システム改修がなくなったための減額でございます。

続きまして、県支出金、総務費負担金、市町村移譲事務交付金でございます。こちらにつきましては県の事務処理特例条例に基づきまして、市町村に権限移譲にされている事務の交付金でございます。権限事務について28件、経由事務につきましては8件を計上してございます。

続きまして、24ページ、25ページをお開きください。障害者福祉費負担金でございます。こちらにつきましては930万円ほどふえてございます。国庫と同様、障害福祉サービス増に伴う県費補助の増でございます。県負担分4分の1でございます。

続きまして、児童福祉費負担金、こちらにつきましても67万円ほどふえてございます。保育所に入園希望の児童の数がふえたための県費の増でございます。こちらにつきましては県4分の1の負担でございます。節の5、児童手当負担金。児童手当負担金として県の負担分6分の1を計上してございます。

続きまして、県の補助金、総務費補助金、1、市町村自治基盤強化総合補助金でございます。こちらにつきましては地方創生、広域斎場、それから駅周辺施設整備基本構想、おもてなし事業等に充当をさせていただいております。

水源環境保全・再生施策市町村補助金につきまして、4,340万円ほど減額となっております。理由としまして、川音川整備が終了したためでございます。

続きまして、節の4、地域防犯力強化支援事業補助金につきましては、こち

らにつきましては防犯カメラ設置にかかる補助金をいただいていたということでございます。

続きまして、社会福祉費補助金でございます。民生委員推薦会補助金等、こちらにつきましては民生委員活動にかかる県の補助でございます。37名でございます。

続きまして、老人福祉費補助金、こちらにつきましては老人クラブのかかる県費の補助でございます。現在5クラブございます。

続きまして、障害者福祉費補助金、こちらにつきましては70万ほどふえてございますけれども、上から3つ目、地域生活支援事業の対象者の増でございます。県4分の1でございます。

児童福祉費補助金につきましては、こちらにつきましては3,490万円ほど減額となっております。さくら保育園の増改築が終了したための減が…ものになります。また、29年度で補正をさせていただきましたけれども、保育エキスパート等研修代替保育士雇用補助金、これは新規でございます。保育士のスキルアップに必要な研修を受講するための代替保育士の雇用に対する県の負担分でございます。

1枚おめくりください。26、27ページでございます。子ども・子育て支援交付金、こちらは180万円ほどふえてございますけれども、さくら保育園に子育て支援センター設置に伴う県費の増でございます。

続きまして、目4、農林水産業費補助金の1、農業費補助金。こちらにつきまして60万ほど減ってございますけれども、こちらにつきましては経営所得安定対策事業の対象者が松田町からいなくなったための減額でございます。

続きまして、商工振興費の補助金、こちらにつきましては164万5,000円ですけれども、70万円ほどふえてございます。新たに県単費で創設した補助金が増えられているものでございます。

土木費補助金、地籍調査費補助金、こちらは70万円ほど減額されてございますけれども、調査面積が減となり、事業費そのものが減となったものでございます。

続きまして、消防費補助金512万円につきまして、昨年より198万円ほど減額

になってございます。平成29年におきまして、土砂ハザードマップ作成が終了したものが主なものでございます。

続きまして、教育総務費補助金、58万円ほど減額となっております。道徳の教育化のための補助金がなくなったものでございます。

続きまして、県の委託金、総務費委託金でございます。2の統計調査費委託金。上から3段目、工業統計調査費交付金、それから下から2段目、住宅・土地統計調査費交付金の本調査が今年度実施をされる予定です。ほぼ満額の委託金で事業執行を行うものでございます。

続きまして、節の4、選挙費の委託金、県知事及び県議会議員選挙費委託金でございます。31年4月に執行予定されております選挙費の委託金が増額となっております。

1枚おめくりください。28ページ、29ページ。最上段、財産貸付収入、土地建物貸付収入、こちらにつきましてはチェックメイトが主な収入源でございます。また、ハローワーク等への貸付収入も含まれております。

続きまして、中段になります。一般寄附金、ふるさと応援寄附金でございます。観光PRや包括連携を進めまして、顧客の増、返礼品の拡充を図ってまいります。5,000万円の増となっております。平成29年度足柄牛が37%、ミカン32%、この2つで全体の70%の返礼品を占めております。また、ヘリコプター29件、平成29年度ですけど、ヘリコプター29件も含まれております。

続きまして、繰入金、教育施設整備基金繰入金。教育施設整備基金繰入金として1,000万円を繰り入れてございます。松田中学校の体育館の雨漏り工事に充当を予定してございます。

1枚おめくりください。30、31ページになります。貸付金元利収入でございます。節1、勤労者生活資金貸付預託金元金収入でございます。町内の勤労者への生活資金を融資するための原資でございます。

続きまして、事業収入として介護予防サービス計画費収入、要支援1、2のサービス利用者、介護予防サービス計画による収入でございます。570人を予定してございます。介護予防ケアマネジメント費収入としまして、介護予防、日常生活支援事業のサービス利用者への介護マネジメント収入でございます。

ハーブガーデン収入として3,090万2,000円が、これが皆増となってございますが、指定管理から町管理となったための皆増となっております。

続きまして、雑入の節の3、市町村振興協会市町村交付金、こちらが150万円ほど減額になっております。宝くじの売り上げの減によるものと思われまして、年々減少してございます。

続きまして、後期高齢者健診収入。こちらも約50万円ほど減額しております。契約単価が減となったため、広域連合からの補助額が減となっております。

それから、節の7、避難所施設等太陽光発電設備売電収入60万円につきましては、平成29年度に設置しました地域集会施設に4つ、分団詰所に5つ、幼稚園2つ、計11カ所の太陽光パネルによる売電収入を計上させていただいております。

すいません、町債につきましては先ほど町債の説明をしたもので、これは割愛をさせていただきます。

歳入については以上でございます。

議会事務局長 それでは、歳出に移らせていただきます。ページ34、35ページをごらんください。款項目とも議会費でございます。予算総額8,645万4,000円、前年対比99万4,000円の減、率にして1.1%の減となりました。

説明欄をごらんください。議員及び職員人件費に要する経費が予算の94%余りを占めております。その総額は8,232万3,000円となり、前年度対比45万3,000円の減額となりました。主な減額の要因は、議員共済会負担金の負担率が38.2%に減少し、54万円の減額となったものです。

次に2、議会活動に要する経費ですが、総額は413万1,000円で、前年度対比54万1,000円の減額となりました。主な要因は、印刷製本費13万7,000円の減額、議長の県や他市町村の会議、行事に出席するための庁用車の運転管理委託料13万5,000円、こちらは増となったものの、29年度に実施した議員の視察を30年度は実施しないこととなることによる車両借上料、有料道路通行料等、22万6,000円の減額となっております。

以上のおりでございます。よろしく願いいたします。

総務課長 次に、36ページ、37ページをお願いいたします。款総務費、項総務管理費、

目一般管理費でございます。本年度予算額 3 億8,842万5,000円、対前年度889万7,000円の減額でございます。

説明欄で説明をさせていただきます。特別職 2 名、職員40名分の給与費になります。職員につきましては総務課、政策推進課、定住少子化担当室、町民課、税務課、出納室の職員40名分となります。職員人件費につきましては予算書の費目ごとにそれぞれ職員給与費として計上しておりますけれども、一般会計分と全会計分の人件費明細につきましては予算書の184ページから195ページにかけて掲載してございますので、後ほど御高覧いただきたいと思います。全体といたしましては、一般職員分としまして115名、8 億5,530万2,000円で計上してございます。対前年度1,017万1,000円の増額ということで計上させていただいておりますが、主に昇給・昇格にかかる増額分で見込み計上しております。

次のページをお願いいたします。38ページ、39ページになります。一般事務経費でございます。主な事業につきましては、7、賃金、臨時雇用職員への賃金。これは共済費につきましては臨時雇用職員分も含まれております。町長交際費に100万円。職員管理につきましては13、委託料、職員健康診断委託料として98名分、これは臨時職員分も含めた数字ですけれども、92万7,000円を計上。なお、教育委員会、それから特別会計につきましては、それぞれ職員健康診断料を別に計上してございます。そのほか、夜間警備委託料、町例規検索システム保守委託料が主なものでございます。14、使用料及び賃借料では、人事給与システム賃借料に110万5,000円を計上してございます。

次のページをお願いいたします。19、負担金補助及び交付金では、町職員互助会補助金111万2,000円、1 人当たり9,500円で人数計算で福利厚生費として計上してございます。また、県市町村電子自治体共同運営協議会負担金122万5,000円が主なものでございます。（2）職員研修事業では、全体で108万4,000円を計上いたしまして、30年度につきましては新たに民間企業への接遇などの研修、また、県外研修として地域活性化のスキルアップ研修を実施してまいります。（3）情報公開制度運営事業では、上郡 5 町で共同運営しております審査会の管理経費になります。

参事兼政策推進課長

続いて、文書広報費でございます。694万3,000円、昨年度に比べまして

2,000円ふえてございます。主なものは需用費、印刷製本費の477万4,000円、こちらにつきましては広報年12回、おしらせ号全23回の印刷製本費となっております。また、それらとともに、現在3名いらっしゃいますふるさと大使関連経費、それから次ページになります、42、43ページになりますけども、町のホームページの費用がこの中の主なものでございます。

続きまして、財政管理費でございます。119万9,000円、昨年度80万6,000円、39万3,000円の増となっております。増な主なものとしまして、委託料、新地方公会計制度財務書類作成等支援業務86万4,000円、こちらにつきましては公会計処理に当たりまして職員向けの研修、また、財務諸表の仕分けの確認等の相談をお願いする予定でございます。以上です。

会計管理者兼出納室長 続きまして、目04、会計管理費でございます。出納室の事務執行に関する予算となっております。本年度予算額44万9,000円、前年度対比0.2%の増額となっております。

説明欄をごらんください。1、会計事務に要する経費で、主な支出といたしましては、11、需用費の印刷製本費で、日常業務に使用いたします収支日報等の印刷製本費12万4,000円、12、役務費の手数料といたしまして、指定金融機関の窓口事務手数料と、決算時に必要な各金融機関の残高証明書の発行手数料の合計21万1,000円などを計上いたしました。

会計管理費に関する説明は以上でございます。

総務課長 次に、目の5、財産管理費でございます。本年度予算額6,207万円、対前年度1,294万7,000円の増となっております。

増額の主なものにつきましては次のページをお願いいたします。45ページでございます。28、繰出金で、用地取得特別会計への繰出金として2,186万7,000円が主な増の要因でございます。前年と比較して1,523万3,000円の増となりました。町屋地区用地取得として、旧土木跡地の元利償還金が始まることによるものでございます。

また上段に戻りますが、13、委託料の町有林整備では703万2,000円の予算で、昨年測量を実施いたしました、チェックメイトに隣接する庶子地区の山林の整備を行ってまいります。

25、積立金の避難所施設等太陽光発電設備売電基金積立金につきましては、昨年設置工事をいたしました地域集会施設等11カ所の太陽光発電からの売電収入、収入と同額の60万円を計上させていただいております。

次に下段の（3）庁舎管理経費でございます。2,228万2,000円の予算を計上しております。主なものにつきましては、7、賃金の庁舎清掃にかかる臨時雇用職員の賃金168万6,000円。11、需用費の庁舎光熱費に697万2,000円が主なものでございます。

次のページをお願いいたします。13、委託料では、庁舎管理の法定業務等委託が803万円。14、使用料及び賃借料、事務機器等賃借料、これは庁舎の中の電話機器、事務機器になります。142万6,000円が主なものでございます。

（4）町営臨時駐車場管理経費158万9,000円につきましては、JR松田駅前の臨時駐車場、仲町屋臨時駐車場の管理にかかる経費でございます。JR駅前につきましては時間貸しで、月平均55万円の収入を見込んでおります。また、仲町屋につきましては127台で751万2,000円の収入を見込んでおりますが、その主な支出として、両駐車場の管理委託料と設備保守点検委託料で130万6,000円を計上してございます。

次に目の6、住宅管理費でございます。町営住宅管理経費999万3,000円、管理する町営住宅81戸の維持管理経費になります。主なものといたしましては、籠場地区住宅の平成30年10月ごろの完成に伴い、既存町営住宅にお住まいの方々に転居をお願いし、空き家となった住宅の解体費用5戸分として、250万円を計上しております。また、これとあわせて整理していく考えでございますが、当初予算計上額としては、中丸、中河原、店屋場住宅用地の借地料566万3,000円、前年同額となりますけれども、計上をさせていただきました。

次のページをお願いいたします。22、補償補填及び賠償金では、移転補償費として5棟分50万円を計上してございます。2、住宅整備事業管理経費92万8,000円につきましては、町屋地区、籠場地区の住宅にかかる維持管理運営費として、町屋地区28戸、籠場地区21戸の管理運営委託料として計上してございます。

参事兼政策推進課長

続きまして、企画費でございます。本年度1億9,285万円、昨年度より1億

3,151万円ということで、6,134万円ほどふえております。地方創生関連の事業が主なものでございます。

49ページ、下段になります、総合計画等推進経費でございます。平成31年から次期総合計画に向けての委託料が主なものでございます。総合計画推進経費としまして387万7,000円を計上してございますけれども、昨年より200万円ほど減額となっております。アンケートが終了したことに伴います委託料の減が主なものでございます。

51ページをお開きください。自治体交流事業として102万4,000円でございます。横芝光町の産業まつり及びスポーツ交流事業に関する経費でございます。ここで30万円ほど増額となっておりますけれども、30年度におきましてはスポーツ交流が横芝光町で行われるため、バスの借上料、それから通行料の増が主なものでございます。

定住少子化担当課長

(4) 定住少子化対策支援事業でございます。金額については934万7,000円でございます。主に移住・定住のための支援事業費、官民連携事業費、そして空き家対策事業費で、主なものにつきましては負担金補助及び交付金、住宅取得奨励金事業、二世帯同居等支援事業、ふるさと松田同窓会助成費用等でございます。金額については806万でございます。以上です。

参事兼政策推進課長

それでは、ふるさと納税管理経費でございます。歳入が1億から1億5,000万円とふえたことに伴いまして、こちらにつきましても約2,500万円の増となっております。

続きまして、自治基本条例普及啓発事業としまして56万円を計上させていただいております。周知のための講演会、また、パンフレット作成を予定しております。

続きまして、国際交流事業に関する経費でございます。こちらの24万3,000円につきましては各種イベントへの消耗品等を計上してございます。

続きまして、シティプロモーション・おもてなし推進事業に要する経費としまして、シティプロモーション・おもてなし推進事業210万8,000円でございます。おもてなしを内外に発信し、浸透させるための経費を盛り込んでございます。主なものとして、ふるさと大使のおもてなし公演であるとか、検定システ

ムの経費、Wi-Fi維持費などを計上してございます。

続きまして、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進に要する経費でございます。9,738万円となっております。県西地域活性化プロジェクト推進事業としまして、国・県と、県西2市8町で地方創生推進交付金を共同で新設し、未病改善をキーワードに活性化を図るものでございます。主なものとしまして、駅周辺地域広域案内等業務委託としまして100万、駅周辺地域広域案内設備設置工事としまして400万、国際交流事業に900万円を計上してございます。

また、55ページ上段でございますけども、女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業として8,000万、女性が輝き活躍していくまちづくりの実現に向けまして、地域団体、NPO法人など、起業・創業が自走する新しい仕組みを構築するための施設整備などが主なものでございます。以上です。

総務課長 目の8、町政連絡費でございます。本年度予算額1,594万1,000円につきましては、行政協力委員26名分の報酬480万円、地域コミュニティ活動交付金として1,084万7,000円が主なものでございます。この地域コミュニティ活動交付金につきましては、制度創設から5年を越えてまいりました。30年度で見直しを行う予定で考えておりまして、自治会役員の方々と協議し、要綱の見直しを行ってまいりたいと考えてございます。以上です。

教育課長 続きまして、9番、町民文化センター管理費になります。予算額8,151万2,000円、前年比4,651万9,000円の増でございます。文化センターの予算では事務機器の使用料など、窓口事務にかかわる一般事務経費と施設の維持管理経費として法定の設備点検委託が主なものでございます。

増額の主な要因といたしましては、次のページ、57ページになります。中段の2、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進に要する経費で、地方創生推進交付金の交付を受け、整備する事業によります13、委託料、15、工事請負費でございます。工事請負費につきましては交付金の活用により、カフェテリアと各会議室の改修をしていくものでございます。委託料につきましては、工事に伴う設計委託及びリニューアルイベントを実施するための経費を計上しております。以上です。

参事兼政策推進課長 それでは、目の10、電算管理費になります。7,161万7,000円、昨年度

6,046万1,000円で、1,115万6,000円ほどふえております。主なものとしまして、説明欄（1）住民情報システム管理経費の神奈川県町村情報システム共同事業組合3,994万6,000円、こちらがふえた主なものでございます。現在日立情報で再リースを行っておりますが、TKCに移行に伴います負担金の増でございます。8月20日に移行をする予定でございます。

続きまして、（2）財務会計端末機器関係経費663万9,000円につきましては、財務会計システムの運用にかかる経費でございます。システム保守委託料及び端末機賃貸借料を計上してございます。

1枚おめくりください。電子自治体推進事業395万2,000円につきましては、県の行います電子自治体関連経費95万4,000円と、マイナンバー関係の203万円を計上してございます。設備が主な県の電子自治体にかかわるものでございます。庁内LAN経費につきましては、庁内の情報系の機器の経費でございます。サーバー等賃借料、また通信回線の使用料等を計上してございます。以上です。

参事兼町民課長

続きまして、下段の目の11、寄出張所費でございます。本年度の予算額は427万1,000円、前年度比較95万1,000円の減となっております。寄出張所の管理経費として施設の維持管理にかかる費用などを計上してございます。主なものといたしましては、次のページの説明欄をお願いいたします。

節15、工事請負費、屋上防水改修工事115万8,000円で、併設する国保診療所とあわせて、平成元年4月に完成し、築29年になる寄総合センターの屋上防水改修工事を予定しております。寄総合センターは寄地域の防災拠点ともなりますが、大雨のたび、天井の一部に雨漏りが認められております。防水工事が必要になってきている状況でございます。

続きまして、節28、繰出金、国民健康保険診療所事業特別会計繰出金201万5,000円でございますが、診療所特別会計で計上しております再任用職員1名分の人件費のうち、寄出張所の事務費50%相当分について、診療所特別会計へ繰り出すものでございます。説明は以上でございます。

安全防災担当課長

続きまして、目12、交通防犯安全対策費です。交通安全と防犯に要する経費でございます。本年度予算額は1,321万8,000円で、前年比272万円の増となっております。その内訳としましては説明欄2、交通指導隊運営事業の予算447万7,0

00円で、前年度より178万5,000円の増額となっております。その内訳としましては、11、需用費消耗品の中で、隊服20着の更新を計上いたしました。これは、これまでのモデルが廃盤となりまして、新入隊員の対応が困難になりましたので、隊服を更新するものです。

続いて、19、負担金補助及び交付金として、町交通指導隊発足50周年記念事業交付金30万円を計上しております。事業内容は記念式典、記念誌発行等で、その経費に対する交付金となっております。

続いて、説明欄3、交通安全啓発事業としまして、登・下校時の児童見守り活動として交通安全啓発にかかる経費117万7,000円、シルバー人材センターに委託して実施する予定です。

4、駐輪場管理事業では、引き続き放置自転車対策事業を実施いたします。こちらもシルバー人材センターに委託して実施するものです。

続いて、62、63ページをお願いいたします。説明欄5、防犯活動事業では、防犯灯整備工事と、引き続き県補助金を活用して防犯カメラ2台を設置いたします。これにより、防犯カメラは合計7台になる予定でございます。以上でございます。

参事兼政策推進課長 続きますして、目の13、地域交通対策費でございます。814万5,000円。前年度814万2,000円ということで、3,000円の増となっております。主なものとして、負担金補助及び交付金でございます。乗合バス運行事業補助金としまして、平日増便が3便、枝線が6便、また土・日につきましては枝線2便の増をお願いしているところでございます。また、バス通学定期券助成事業補助金としまして、336万円、現在66の方が御利用になられています。また、高齢者バス定期券助成事業補助金としましては108万円でございますが、現在125の方が御利用をされているところでございます。以上です。

税 務 課 長 続きますして、2款、項の2、徴税费、目の1、税務総務費でございます。予算額187万4,000円、前年比22万9,000円の増でございます。これは税務管理事務に要する経費と庁用車管理経費でございます。一般事務経費161万8,000円で、主なものは確定申告時の申告書の整理及び事業所から送付される給与支払報告書仕分けなどの業務と、基幹システムが8月から変更となるため、事前準備と

してデータ入力及びチェック作業のための臨時雇用賃金121万円です。

次のページをお開きください。その他には、庁用車の燃料代及び車検代や、固定資産評価審査委員会委員3名分の報酬でございます。

次に目の2、賦課徴収費。予算額1,907万6,000円、前年比57万9,000円の減でございます。減となった主なものとしまして、需用費、印刷製本費のうち、納税通知書等の印刷費123万3,000円と、委託料にありました賦課資料データ入力委託料59万4,000円につきましては、基幹システムの変更に伴い減となっております。

また、67ページをお開きください。67ページ上段の家屋評価システム改修作業委託料129万6,000円が増となっておりますけれども、これは基幹システムの変更に対応するため、現在持っているシステムを改修する必要があるために計上しております。

次に、もう一度1ページお戻りください。次に(2)の収納対策事業としまして285万5,000円を計上させております。県税OB1名分の報酬と徴収にかかわる経費でございます。

申しわけないです、次にまた67ページお開きください。次、63ページ、13、委託料の中の固定資産評価業務委託料312万9,000円でございます。本業務は平成33年度の評価替えに向けて、標準宅地等に係る路線価などを算出する業務で、正確な課税のための資料作成を委託するものでございます。以上でございます。

参事兼町民課長

続きます、項3、戸籍住民基本台帳費、目1、戸籍住民基本台帳費でございます。本年度の予算額は1,645万8,000円、前年度比較321万8,000円の増でございます。窓口サービスとなる住民票の写しや印鑑証明、戸籍諸証明、個人番号カードなどの発行のための費用でございます。個人番号カードの発行件数は2月末で1,392件となっております。

説明欄をごらんください。主なものとしたしましては、(1)一般事務経費における節1、報酬、窓口業務サービス報酬1名分、212万8,000円でございますが、従来より総務費、総務管理費、一般管理費の賃金で対応しておりました非常勤職員を嘱託職員とさせていただき、窓口サービスの人材確保を図るものでございます。(2)戸籍電算システム管理経費は、戸籍電算システムの債務

負担行為による賃借料と保守料が主なものでございます。新たなものとしたしましては、戸籍附票連携システム再構築業務委託料162万円でございます。これは磁気システム導入によりまして、住民記録システム上で登録された住民情報を別の戸籍システムで活用するために再構築するものでございます。説明は以上でございます。

総務課長 次に、項の4、選挙費、目1、選挙管理委員会費でございます。一般事務経費につきましては選挙管理委員会を開催する経費でございます。本年度委員会の中で期日前移動投票や選挙公報の発行、そのほか啓発事業について内容を検討してまいりたいというふうに考えてございます。

次のページをお願いいたします。町長選挙費については廃目といたします。

目の5、県知事及び県議会議員選挙費。31年4月実施予定の選挙の前年度、3月支出になるかと思いますが、支出分について計上させていただいております。主な支出につきましては、期日前投票に係る投票管理者、立会人の報酬、ポスター掲示場の設置費用、入場券作成に係る経費でございます。ちなみに、3月1日現在の選挙人名簿登録者数を御報告申し上げます。男4,832人、女4,978人、合計9,810人が3月1日現在の選挙人名簿登録者数となっております。以上です。

参事兼政策推進課長 それでは、目の5…すいません。項の5、統計調査費でございます。43万9,000円。昨年度8万4,000円。35万5,000円の増となっております。財源内訳欄をごらんください。県支出金42万4,000円、一般財源1万5,000円ということで、ほぼ県の支出金でこの事業は執行されております。

増額の主な理由につきましては、71ページをお開きください。来年度住宅土地統計がございますので、その指導員・調査員報酬27万5,000円が主なものでございます。

続きまして、項の6、監査委員費でございます。111万2,000円。前年度104万5,000円。6万7,000円の増でございます。毎月行っただいております例月出納検査、定期監査、決算監査、またその他研修として29日分の監査委員の報酬が主なものでございます。以上です。

福祉課長 それでは、款3、民生費の前半の部分を説明させていただきます。項1、社

会福祉費、目1、社会福祉総務費の予算額は4億1,536万9,000円、前年度比較2,945万円の減となっております。主なものといたしましては、臨時福祉給付金事業が終了いたしましたので、2,967万5,000円の皆減となっております。

説明欄をお願いいたします。1、職員人件費に要する経費は職員11名分の人件費7,504万8,000円、前年度比較92万2,000円の減でございます。

72、73をお願いいたします。2、社会福祉業務に要する経費。火葬料援助費の扶助費、火葬料援助費につきましては実績に基づき64万円を増額し、140件分、448万円を計上してございます。(3)一般事務経費5,118万1,000円で、前年度比較295万7,000円の減額。主な増減要因としましては、負担金補助及び交付金、町社会福祉協議会の職員給与費5名分など、町社会福祉協議会補助金2,940万3,000円、前年度比較286万7,000円の減でございます。それに加え、指定管理委託料1,785万8,000円ほか、健康福祉センターの管理に要する経費、町民生委員児童委員協議会活動交付金276万8,000円ほか計上しております。

74、75をお願いいたします。(4)地域福祉推進事業におきましては、地域福祉計画の改定年に当たりますので、委託をしないで職員で行いますが、13万4,000円の増額をさせていただいております。

3、繰出金に要する経費では、(1)国民健康保険事業特別会計繰出金の1億1,460万円は、前年度比較500万2,000円の増となっております。国民健康保険事業特別会計繰出金の内訳でございますが、法定繰出分である国保加入者の出産育児一時金が252万円、国保会計職員3名分の給与費と事務経費分の3,152万3,000円、財政安定化支援事業分として360万3,000円、法定外繰出分であるその他一般会計繰出金分が前年と同額の2,000万円としております。国民健康保険基盤安定制度繰出金は、低所得者に対して保険税軽減分の一定割合を補填する制度で、前年同様5,695万4,000円、国・県の補助が財源措置をされます。

(2)介護保険事業特別会計繰出金。介護保険事業特別会計繰出金は1億6,909万2,000円で、前年比較167万2,000円の減となっております。介護保険事業特別会計繰出金の内訳といたしましては、公費町負担分として、人件費2.5人分と事務費及び介護給付費の12.5%、地域支援事業の介護予防日常生活支援総合事業分12.5%、同じく地域支援事業費の包括的支援事業・任意事業の19.25%、

並びに低所得者保険料軽減分となっております。

次に、目2、老人福祉総務費の予算額は1億6,302万3,000円、前年度比較714万円の増になります。

76、77ページをお願いいたします。3、後期高齢者医療運営事業の本年度予算1億5,266万7,000円、前年度比較804万4,000円の増額でございます。

節19、負担金補助及び交付金。後期高齢者医療広域連合事務費負担金は729万5,000円で、後期高齢者医療広域連合の運営費負担金です。共通経費負担金として人口割47.5%、被保険者割47.5%、均等割5%となっております。後期高齢者医療広域連合市町村定率負担金は1億1,812万8,000円ですが、町負担分として後期高齢者医療広域連合から提示された額で、被保険者数1人当たりの医療費等に基づき算定されております。なお、後期高齢者医療制度の公費負担は、国12分の4、県12分の1、市町村12分の1の負担割合となっております。

節28、繰出金、後期高齢者医療保険基盤安定制度繰出金は、低所得者軽減に係るものとして2,550万1,000円を、後期高齢者医療特別会計繰出金174万3,000円は一般管理経費としての事務費分、町費のみを計上しております。

4、敬老会関係では、敬老祝金ほか、事業経費552万3,000円を計上してございます。

(5) 高齢者生きがい事業では、松田町シルバー人材センターの職員2名分などの人件費費用として、シルバー人材センター振興補助金のほか222万9,000円で、前年度比較136万9,000円の減となっております。

(6) 高齢者生活支援事業は、緊急通報システムの維持管理及び設置の経費等を計上してございます。

19負担金補助及び交付金では、福祉有償サービス事業補助金として、引き続き町社会福祉協議会しあわせサービスあしがらの福祉有償サービスへ補助を実施してまいります。

(7) 老人クラブ運営補助金として、老人クラブ連合会、地区老人クラブ5クラブに補助金を支出してございます。

目3、障害者福祉費2億9,769万1,000円、前年度比較3,372万5,000円の増となっております。

78、79ページをお願いいたします。障害児者支援及び給付等に要する経費の
(1) 一般事務経費の主なものといたしまして、19負担金補助及び交付金で、
2市8町での広域圏、あるいは足柄上郡の団体、町の団体など、総額212万6,0
00円を補助計上しております。

(2) 重度障害者医療費2,664万7,000円は、前年度比較167万6,000円の減で
ございます。扶助費、重度障害者医療費2,623万6,000円、前年度比較166万2,0
00円の減となっております。対象者は193人を見込んでございます。

3、障害福祉サービス等給付事業の2億5,938万円、前年度比較3,797万8,00
0円の増。主なものといたしましては扶助費、障害福祉サービス等給付費が補
装具費を含めて2億5,852万2,000円、前年度比較3,793万7,000円の増によるも
のでございます。

(4) 地域生活支援事業費の744万1,000円は、主なものといたしましては臨
時雇用賃金を基幹相談支援センター業務の比重がふえてきたことから、(5)
の障害者機能訓練・社会参加支援・啓発事業で計上していたものを組み直して、
国費2分の1、県費4分の1の充当ができるようにしたものでございます。

80、81ページをお願いいたします。負担金補助及び交付金で、障害者の外出
支援に係る248万円等、20、扶助費の日常生活用具給付費等311万1,000円で
ございます。

(5) 障害者機能訓練・社会参加支援・啓発事業190万3,000円、前年度比較
112万9,000円は、先ほど説明した臨時雇用賃金の組みかえによるものでござい
ます。また、それ以外の減額の要因といたしまして、第3次障害者計画、第5
期障害福祉計画の策定が終了いたしましたので、委託料ほか317万円が減額と
なっているものでございます。

目4、国民年金費の予算額17万7,000円で、前年度比較171万3,000円の減と
なっております。前年度見込んでいた法改正によるシステム改修に係る町村会
の共同事業負担金分が減額となっております。1月末現在、国民年金加入者は
1,966人、1号が1,220人、3号が735人、任意が11人でございます。以上です。

子育て健康課長

項2、児童福祉費3億8,837万円。前年度比較4,927万6,000円の減でござい
ますが、減少の主な要因は平成29年度に完成しました松田さくら保育園の増築

に伴う、民間保育所整備事業補助金5,317万3,000円が終了したためでございます。

目1、児童福祉総務費9,161万5,000円、508万8,000円の増。増加の主な要因としましては、民間保育所内、松田さくら保育園内に子育て支援センターを設置いたしまして、運営費の補助478万5,000円がふえたものでございます。

右側の説明欄に移ります。1、一般事務経費ですけれども、この中の19、負担金補助及び交付金、広域病児保育事業負担金となっておりますが、上郡5町で新たに30年の10月から実施する事業でございます。施設所在地である開成町が事業主体となり、国・県の補助金を申請し、事業経費から補助金を差し引いた額を残りの4町が負担金として支出します。なお、平成30年10月から実施予定ですので、この37万2,000円は半年分となります。

1ページお開きください。2、小児医療費助成事業。0歳から中学校卒業までの子供の医療保険自己負担分を補助します。

3、ひとり親家庭等医療費助成事業。ひとり親家庭などの医療保険自己負担分を補助します。

4、子育て支援センター・ファミリーサポート事業。こちら主なものは委託料の子育て支援センター・ファミリーサポート事業委託料でございますが、今、松田町でやっております支援センターのほかにですね、19番と…負担金補助及び交付金として民間保育所内子育て支援センター運営費補助金としまして、松田さくら保育園に平成29年度に増築した2階部分に、子育てに関する相談や世代間交流を行う支援センター機能を整備しました。その運営にかかる費用の補助を行います。国が3分の1、県が3分の1の補助がございます。

5、学童保育運営事業。放課後において家庭に保護者が不在な児童に対して行う学童保育の経費で、主なものは学童支援員の臨時雇用賃金でございます。

1ページおめくりください。6、子ども・子育て支援事業計画推進事業。現在の計画が31年度で切れますので、委託料としまして、子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料をのせさせていただきます。32年度から36年度の計画を策定するための経費で、30年度はニーズ調査、31年度は計画策定を予定してございます。合計の409万3,000円につきましては債務負担行為をさせていただきます。

いております。

7、子育て世帯支援事業。子育て世帯を支援するため、水道料基本料金分を補助するものでございます。

8、児童相談事業。児童に関する相談を行います児童相談員と、子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーター1名の報酬が主なものでございます。

目2、児童措置費2億9,675万5,000円、5,433万4,000円の減。減少の主な要因は、平成29年度に完成しました松田さくら保育園増築に伴う民間保育所整備事業補助金5,317万3,000円が終了したためでございます。

右側の説明欄に移ります。1、保育所運営事業。町内児童が入所している保育所の運営費を支給するための保育所運営費委託料が主なものでございます。それとですね、19、負担金補助及び交付金の保育緊急対策事業費補助金。0歳から2歳について、定員を超えての受け入れに対する補助金でございます。平成30年3月1日現在で松田さくら保育園に131名、町外の保育所に14名、合計145名が入所してございます。

2、保育促進事業。主なものは保育所が独自で取り組む一時預かりについて補助します一時預り保育事業補助金でございます。

1ページおめくりください。児童手当事業。こちらは国の施策によって行っております児童手当を支給するための事業でございます。

項3、災害救助費、目1、臨時災害救助費。こちら東北大震災慰霊祭に参加するための経費でございます。

議 長 暫時休憩といたします。休憩中に昼食をとってください。なお、1時から大会議室において全員協議会を開きます。以上です。本会議は1時半からやります。暫時休憩です。1時からは大会議室で全員協議会、本会議は1時半から再開をいたします。 (11時51分)

議 長 休憩を解いて再開をいたします。 (13時31分)

子育て健康課長 86ページ、それでは衛生費からお願いをします。

子育て健康課長 款衛生費、項保健衛生費、目保健衛生総務費。7,689万3,000円、前年対比882万8,000円の増。増加の主な要因は職員給与費及び寄簡易水道事業特別会計

繰出金の増加でございます。

右側に移りまして、1、職員給与費。職員8名に係る給与でございます。

1枚おめくりいただきまして、1、一般事務経費。主なものは足柄上医師会事業負担金、広域二次病院群輪番制運営事業負担金などの負担金となっております。

3、一般健康づくり事業。今回新たにですね、19、負担金補助及び交付金のところで、骨髄移植ドナー支援事業助成金を開始いたします。骨髄等のドナー及びドナーが勤務する事業所に対し助成金を交付することにより、ドナーの経済的な負担を軽減し、骨髄等の移植及びドナーの登録の増加を図ることを目的として実施します。

3、繰出金に要する経費。(1)寄簡易水道事業特別会計繰出金、2,320万円でございます。

目2、予防費。母子保健法に基づく各種事業にかかる経費でございます。1ページおめくりください。3カ月健診、1歳6カ月児健診などに係る、医師や保健師などに係る報償が主なものでございます。

13の委託料では妊婦健康診査委託料。こちら妊娠届け出の時期によっても異なりますが、最高で14回の補助が受けられます。県内の産科医療機関を取りまとめる一般社団法人神奈川県産科婦人科医会に委託してございます。

2、感染症予防事業。こちら主なものは扶助費の任意予防接種費助成金でございます。あ、すいません。委託料の個別予防接種委託料でございます。こちらは足柄上医師会、小田原医師会、上病院と1市5町で共同契約をし、予防接種事業を行っております。4種混合や不活化ポリオ、2種混合など、法律で定められた定期接種と、インフルエンザや風疹、子宮頸がん等の任意予防接種がございます。

20番の扶助費に任意予防接種費助成金105万1,000円とございますが、このうちの104万3,000円が新たに小・中学生のインフルエンザ予防接種の助成を行うためのものでございます。小学生と中学生に対して1回1,000円の補助を行います。

3、健康増進事業、1ページおめくりいただきまして、主な支出は委託料の

がん集団検診委託料、がん施設検診委託料などがございます。こちら平成30年度からは債務負担行為により、5年間の契約となっております。

4、未熟児等養育医療費助成事業。未熟児に対する医療の補助を行っております。

5、後期高齢者保健事業。こちら、後期高齢者に対する健康診査の実施にかかる費用でございます。

19番、負担金補助及び交付金は、後期高齢者が人間ドックにかかった際、1人2万円を補助している事業でございます。説明は以上でございます。

環境上下水道課長

それでは説明させていただきます。92、93ページ、下段、目3、環境対策費をお願いいたします。3課に及んでおりますが、一括して御説明させていただきます。

全体の予算額は総額で1億1,811万6,000円、前年度対比5,784万円の増となっております。主な増因は、小田原市斎場事務等負担金の増加によるものでございます。

1ページおめくりください。95ページ、説明欄をお願いいたします。3、環境美化推進事業です。環境美化推進委員報酬以下、不法投棄ほか、環境美化一般に行う臨時雇用職員、側溝清掃及び不法投棄などの収集運搬など、環境美化に対する経費500万4,000円を計上してございます。

次に（4）鳥獣防除対策事業として335万5,000円を計上しております。有害鳥獣による農作物等への被害軽減を目的とした経費であります。

8、報償費。有害獣駆除報償金として44万円を計上してございます。

12の役務費。鳥獣被害対策実施隊員保険料11万1,000円については、鳥獣被害防止特措法に基づき、出勤時に係る保険でございます。

19、負担金補助及び交付金。有害獣防止柵設置材料費補助金については、本年度150万円を計上してございます。

続きまして、（5）小田原市斎場事務等負担金です。19、負担金補助及び交付金1億184万2,000円で、前年度比較5,774万8,000円を増額してございます。内訳の主なものでございますが、例年の小田原市斎場事務広域化協議会の事務費負担金232万7,000円に加え、小田原市斎場整備費負担金として9,951万5,000

円を計上しております。ちなみに、債務負担行為は平成28年から31年度までの4年間で、2億600万8,000円を上限に、毎年度整備負担金として計上させていただいております。なお、供用開始は平成31年4月を予定しております。

続きまして、95ページの最下段、6、再生可能エネルギー利用促進事業でございます。1枚おめくりください。平成29年度より寄地区における再生可能エネルギーによる地域経済再生を目的とした民間プロジェクト「W-BRIDGE」が現在進行しております。この事業の推進に向けまして、町としても支援策として30年度、報酬、旅費、委託料を中心に予算を拡充し、174万7,000円のですね、予算化をして…予算拡充をしているところでございます。

97ページ、(1)ハンター育成事業でございます。ハンター育成事業の300万でございますが、地域創生交付金を活用した事業で、高齢化や担い手不足により、後継者不足になるおそれを打開するため、捕獲講習会やイベントを開催し、若手や女性など、新たにハンターを目指す者を掘り起こし、育成するための事業として予算計上しているところでございます。

続きまして、項2、清掃費、目1、塵芥処理費になります。予算額は1億3,011万4,000円で、前年対比61万6,000円の減となっております。主なものとしたしましては、(1)一般事務経費の19、負担金補助及び交付金の足柄東部清掃組合における負担金でございます。今年度7,904万8,000円、前年度比58万2,000円の減額でございます。

1枚おめくりください。99ページ、中段少し上の(4)廃棄物収集運搬委託料でございます。可燃ごみ、缶、瓶、ペットボトル、古紙などの一般廃棄物の収集運搬委託に係る経費でございます。今年度4,827万4,000円、前年度の比較で12万3,000円の減でございます。

次に、目、し尿処理費になります。予算総額1,140万5,000円、前年対比229万9,000円の増額となっております。これにつきましては、いわゆるし尿処理のくみ取りの委託126万円、合併浄化槽の整備費の補助金474万1,000円、し尿処理します、足柄衛生センターでし尿処理するための負担金経費としまして、足柄上衛生組合に対する負担金513万円でございます。以上でございます。

観光経済課長 それでは、続きまして最下段、款5、農林水産業費、項1、農業費です。

1枚おめくりください。100ページ、101ページになります。目1、農業委員会費です。予算額240万3,000円で、前年対比5万1,000円の減となっております。右側説明欄をごらんください。1、農業委員会の運営等に要する経費の主な支出につきましては、(1)一般事務経費では、節1、報酬、農業委員8名分の報酬と、目4、自然休養村ふれあい農林体験施設管理経費から移管しました軽トラックの管理経費となっております。続きまして、(2)国有農地管理事務取扱事業につきましては、国有農地17筆、5,413平米の管理事務経費となっております。(3)農業委員…失礼いたしました。農業者年金業務につきましては、農業者年金に加入されています6名の方に係る事務経費となっております。

1ページおめくりください。102、103ページになります。目3、農業振興費です。予算額546万5,000円、前年対比261万4,000円の減となっております。

主な支出につきましては説明欄中段、(2)施設管理経費の中で町が管理する農道・林道や、水路等の補修費と工事請負費となっております。なお、減の要因といたしましては、節15で、事業が終了したことによる工事請負費の減と、平成29年度まで予算計上しておりましたお米の経営所得安定対策事業44万7,000円につきましては、29年度をもって事業が終了したことによって減となっております。(3)中山間地域等農業活性化支援推進事業につきましては、適切な生産活動が継続的に行われるよう、中山間地の畑等に対する補助制度になってございます。今現在、松田地区で1集落が該当してございます。補助事業となっておりますので、国が2分の1、県が4分の1、町が4分の1で補助をしているものでございます。続きまして、(4)里地里山保全・再生事業では、地域で山や農地など、自然環境を維持していくための補助事業となりまして、歳入につきましては県から100%の補助をいただいているところでございます。寄、宇津茂地区、1万6,733平米が指定されてございます。

続きまして、下段の目4、自然休養村管理費になります。予算額2,440万2,000円で、前年対比1,324万3,000円の減となっております。主な減の理由は、寄七つ星ドッグランの指定管理に伴う運営費の減でございます。

1ページおめくりください。104、105ページになります。説明欄上段の

(2) 自然休養村管理センター施設管理経費、(3) ふれあい農園施設管理経費、(4) みやま運動広場管理経費につきましては、各町施設の維持管理経費となっております。(5) 寄ロウバイ園施設管理経費につきましては、ロウバイまつり開催経費といたしまして、駐車場整理員等の賃金115万2,000円、まつり委託料として230万円などを計上しております。また、祭り期間を除くロウバイ園の維持管理を、平成30年から32年度までの3年間を宇津茂ロウバイ部会さんをお願いする指定管理料として、平成30年度分として100万円を計上しております。

1枚おめくりください。106、107ページになります。説明欄3、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進に要する経費として、(1) 上段のYadoriki Healing Village運営事業では、管理運営委託料につきましては、今後地域の素材を生かして民間企業とのコラボ商品の開発などを行うための経費でございます。

続きまして、事業推進支援委託料につきましては、今後農泊滞在型観光の推進、お米と日本酒等をつくったプロジェクト。続きまして、寄ヒーリングブランド商品の認定などについて今後進めていく予定でございます。

続きまして、委託料、ふれあい農林体験施設指定管理委託料につきましては、今年…失礼いたしました。本年1月からですね、指定管理をしていきまして、次の平成30年度1年間を指定管理するのに伴う指定管理委託料となっております。原材料費につきましては、地域住民により、Yadoriki Healing Village事業を推進するための原材料費となっております。事業用備品の購入につきましても、先ほど御説明させていただきました地域素材等の活用に伴う備品購入を考えてございます。

続きまして、項2、林業費、目1、林業振興費になります。予算額968万7,000円、前年対比157万4,000円の増となっております。

説明欄をごらんいただきたいと思います。林業振興に要する経費といたしまして、1、一般事務経費では今年度新たに賃金を計上させていただいております。この賃金につきましては平成31年度から水源環境譲与税の交付に伴い、民有林を対象とした町林地台帳整備が必要になることから、事務補助として1名雇用するものでございます。(2) 水源の森林づくり事業では、川音川流域を

除く水源の森林エリア内での私有林整備に対する補助事業でございます。

(3) 地域水源林整備事業といたしまして、平成30年度で間伐約1.2ヘクタールの施業と、境界確定業務2.7ヘクタールなどを予定してございます。

続きまして、目2の林道費は、林道施設管理費として93万円を計上させていただいております。節13、委託料で、町が管理する林道等の草刈り及び側溝清掃を予定してございます。

1枚おめくりください。中段になります。目2、商工振興費をお願いいたします。予算額2,390万8,000円、前年対比104万円の増となっております。説明欄、商工振興助成に要する経費といたしまして、一般事務経費の中では中小企業退職金共済制度奨励補助金、小規模事業者経営改善資金利子補助金等を継続して予算措置してございます。(2) 勤労者福祉事業では、町内勤労者に対して低利で生活資金の融資や住宅資金を借りた際の利子補助事業としてそれぞれ補助金を計上させていただいております。続きまして、(3) 商工振興対策事業といたしましては、松田産業まつりを継続して開催を予定してございます。また、まつだ乾杯条例推進事業を今後も推進していくための予算計上をさせていただいております。

1ページおめくりください。110、111ページになります。説明欄7行目の商工振興商品券発行事業では、10%のプレミアムつき松田わくわくお買い物券の発行を今年度も計画をさせていただきたいと思っております。

続きまして、すいません、6行目にお戻りいただきまして、6行目のですね、移動販売事業補助金につきましては、今現在移動販売事業を実施していただいている事業者の方にですね、ガソリン代の約2分の1、今、3万円かかるということですので、その2分の1、1万5,000円を1年間にわたって補助をしていく制度でございます。

続きまして、店舗リノベーション支援補助金につきましては、今現在ですね、空き店舗対策事業として家賃等の補助を実施していましたが、利用率がなかなかないということですので、ここで新たにですね、展開を考えておりまして、店舗リノベーション事業につきましては、店舗の集客力や買い物環境の向上に資する修繕などについて補助をしていくということを考えております。具体的

にはトイレの改修、またはバリアフリー化などをした場合の補助を考えております。上限額を100万円の事業費に対して2分の1の50万円を補助するものでございます。なお、この3分の1は市町村自治基盤強化総合補助金を活用して歳入を設けてございます。

続きまして、(4) コスモス館(物産館) 運営支援事業では、買い物難民対策と農・商の連携を図るため、継続して地産地消の会の運営を支援してまいります。

続きまして、(5) 駅前案内・待合所運営事業。観光事業などの案内とバスの待合室として、新松田駅、以前化粧品店を営んでいたお店をお借りいたしまして、活用していくものでございます。管理方法につきましては、今後各団体と調整していくところでございます。また、商店街活性化の一つとして、チャレンジショップなどとしての活用についても町商工振興会と調整してまいります。

続きまして、目、観光振興費になります。予算額2,676万9,000円で、前年対比344万5,000円の減でございます。説明欄1、観光振興に要する経費といたしまして、(1) フェスティバル事業費といたしまして、836万8,000円を計上させていただきまして、松田きらきらフェスタ、桜まつりなどの事業といたしまして570万円を計上してございます。

1 ページおめくりください。112、113ページになります。説明欄(2) 一般事務経費といたしましては、土佐原地内にありますあずまやの補修改修、並びに土佐原管理休憩施設のトイレ洋式化改修などを予定してございます。(3) 観光宣伝事業につきましては、19、負担金補助及び交付金の町観光協会補助金につきましては、人件費補助を3名から2名にしたことなどにより、359万6,000円の減となっております。また、平成29年度までこの観光振興費で計上していました松田ブランド事業につきましては、先ほど御説明させていただいたように、Yadoriki Healing Villageの事業のブランド事業に組み込んで実施するため、30年度では計上しておりません。なお、平成29年度の事業についても同様の執行をさせていただいております。

続きまして、目2、公園管理費になります。予算額7,786万5,000円、前年対

比2,792万7,000円の増となっております。増の要因といたしましては、ハーブガーデンを町で平成30年度直接運営することになったことによるものでございます。説明欄、公園管理事務経費といたしましては、最明寺史跡公園、西平畑公園を含む11公園と、8つの児童遊園地の管理経費となっております。

1枚おめくりください。114、115ページになります。説明欄中段（2）西平畑公園管理費といたしましては、報酬で新たに西平畑公園全体の管理に関するマネジメントを行っていただく西平畑公園園長代理について予算計上させていただいております。その他、西平畑公園の維持管理に必要な委託料を計上させていただいております。続きまして、（3）ハーブガーデン管理費では、1、報酬。ハーブ館館長につきましては、松田山ハーブ館並びにハーブガーデンの総合的な管理運営を行っていただくための館長として予算計上をさせていただいております。

それでは1枚おめくりください。116、117ページになります。こちらのほうは新規の予算になっておりますので、少し詳しく御説明をさせていただきます。7、賃金につきましては、ハーブ館事業に伴う雇用賃金となっております。11、需用費の主なものといたしましては、賄材料はレストランの食材購入費となります。仕入費につきましては売店、工房、外売店の仕入費となります。続きまして、13、委託料では、ハーブ館建物維持管理に関する必要な委託費を計上してございます。7行目のですね、特殊建築物基本調査委託料につきましては、建築基準法第12条に基づきまして、神奈川県に避難施設防火設備等の検査をしたことを1級建築士が実施したことを報告する必要があるため、委託として実施するものでございます。14、使用料及び賃借料では、物品リース料につきましては、レストランの食券販売機を継続してリースするものでございます。5年目になります。続きまして、レジスター連動売上システムにつきましては、商品登録をパソコンで対応でき、簡単にバーコードを作成することが可能になります。その結果、レジの結果をパソコンに反映することにより、商品の売れ筋、売り上げなど、1日ごと、月ごとなどに把握することができるため、業務の効率化を図るために導入させていただくものでございます。15、工事請負費につきましては、外壁などのさびているところなどについての塗装を実施をさ

せていただきます。16、原材料費は、ハーブガーデンのハーブや季節の花の苗購入費などに充当をさせていただきます。18、備品購入費では、施設用備品といたしまして、パソコン、電子レンジ、外売店のレジスターなどの購入をさせていただきますものでございます。

続きまして、中段、子どもの館…失礼いたしました。下段、子どもの館管理運営費でございます。子どもの館を運営するための臨時雇用賃金や、施設の維持にかかわる経費でございます。なお、こちらのほうにつきましては平成29年度まで週5日ということですので、水曜日から日曜日までの開館をしてございましたが、平成30年度からはですね、効率化を図るために木曜日から日曜日までの週4日の開館とさせていただき予算計上となっておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、1枚おめくりください。説明欄中段、自然館管理運営費でございます。こちらにつきましては自然館を運営するための人件費や事務事業、施設の維持管理経費でございます。先ほど御説明させていただきました子どもの館と同様に、木曜日から日曜日の4日間の開館を予定してございます。

続きまして、児童遊園地管理経費につきましては、町内にあります8カ所の児童遊園地に係る維持管理経費でございます。説明につきましては以上でございます。

まちづくり課長 続きまして、120ページ、款7、土木費でございます。本年度予算額10億1,993万5,000円で、前年度対比2億3,471万8,000円の増額となっております。主な理由といたしましては、後ほど説明いたします住宅整備事業で、町屋住宅の家屋購入費によるものです。

初めに、項の1、土木管理費、目の1、土木総務費です。本年度…失礼いたしました。予算額6,554万5,000円で、前年度対比623万4,000円の減額となります。主な要因といたしましては、道路台帳補正業務委託を隔年で行っており、平成30年度は実施しないため、減額となりました。

続きまして、説明欄をお願いいたします。1、職員人件費に要する経費。職員給与費として8名分の給与、手当、共済費を計上しております。

次のページ、122、123ページをお願いいたします。中段、中ほどです。説明

欄、（３）地籍調査事業。13、委託料。地籍調査委託料として仲町屋及び沢尻自治会内の7ヘクタールを地籍調査を実施いたします。地権者の方と境界立ち会いをし、地籍図を作成し、面積の確定を行います。なお、県費補助により、4分の3の補助金をいただいております。

続きまして、下段、項の2、道路橋梁費、目の1、道路橋梁総務費です。本年度予算額557万1,000円で、増減はございません。

説明欄をお願いいたします。1、道路橋梁事務に要する経費。（1）一般事務経費。11、需用費。光熱水費では、道路照明灯232灯分の電気料や、町道5号線架道橋ポンプ室の電気代を計上しております。また、下段、17、公有財産購入費、用地買収費は、現道内に存在している民地等の用地買収費を計上しております。

次のページ、124、125ページをお願いいたします。目の2、道路維持費です。本年度…失礼いたしました。予算額4,289万円で、前年度比333万6,000円の増額となっております。主な要因といたしましては、工事請負費の増額によるものです。

説明欄で御説明させていただきます。1、道路維持に要する経費。（1）一般事務経費、11、需用費では、修繕料、町道の小規模修繕工事費を計上し、13、委託料では町道法面草刈委託料として、町道の路肩のり面の草刈りなど、日常の維持管理費を計上しております。続きまして、（2）道路補修事業。15、工事請負費です。生活道路補修工事は認定外道路等の道路補修工事費となります。道路安全施設設置工事は道路照明灯の更新工事や路側のカラー舗装、カーブミラー等の設置工事費になります。町道舗装補修工事は、舗装のひび割れやわだち掘れなどの部分的な舗装維持補修費でございます。町道維持補修工事は、側溝補修や土どめ擁壁などの補修、道路構造物の維持修繕費の工事費でございます。

次に、町道6号線側溝補修工事は、仲町自治会、杉山酒店さん倉庫付近から東側へ、町道15号線との交差点までの側溝ぶたの老朽化対策として、コンクリート床版化にするものでございます。また、社会資本整備総合交付金を活用して、町道17号線町屋地内、町道寄11号線虫沢地内での舗装工事は、今年度に引

き続き舗装の打ちかえ工事を実施いたします。この事業につきましても55%の国庫補助をいただいている事業でございます。

次に、中段、目の3、道路新設改良費です。予算額8,000万円で、前年度比1,603万円の増額となっております。主な理由といたしましては、今年度から実施している町屋踏切改良事業に伴う設計委託料や、松田庶子線の詳細設計委託料などの増額によるものです。

それでは説明欄で説明させていただきます。1、道路新設改良に要する経費。
(2) 道路新設改良整備事業。13、委託料では、道路用地登記書類作成業務委託料。用地買収や狭隘道路協議で寄附を受けた用地の分筆や登記書類の作成費用となります。町道19号線町屋踏切詳細設計委託料は、今年度概略設計を行い、JRと協議を重ねてまいりました踏切改良事業を推進するために詳細設計を行うものです。社会資本整備総合交付金より55%の補助金をいただいております。続きまして、家ノ河原線橋梁詳細設計委託料は、国鉄清算事業団の砂利線跡地から常光沢を渡る人道橋の詳細設計と、砂防指定区域内の占用に係る資料を作成を行うものです。松田庶子線道路詳細設計委託料は、酒匂川左岸堤防道路の城山地区から山北境まで、約1.1キロの道路事業において、今年度に引き続き用地測量や縦横断測量を行い、図面を作成を行うものでございます。この事業につきましても社会資本整備総合交付金で55%の補助金をいただいております。なお、町屋踏切、家ノ河原線、松田庶子線の3つの委託は次年度以降、事業を促進するために計上をさせていただいております。

続きまして、15、工事請負費です。後退用地整備工事は狭隘道路協議によりセットバックをした道路整備を行うもので、3分の1から2分の1の社会資本整備総合交付金から補助をいただいているものでございます。

続きまして、町道寄15号線道路改良工事は、平成28年度より事業に着手している箇所、狭隘道路の拡幅工事を実施している箇所であります。

次に、新設であります…新規事業であります町道5-6号線道路改良工事は、仲町屋自治会川音川堤防道路の幅員狭小区間の改良工事であり、地域の利便性を向上させるとともに、安全性を高めるものです。

続きまして、17、公有財産購入費、用地買収費は次年度以降道路整備につな

げるための用地取得費であります。

最下段、22、補償補填及び賠償金。物件損失補償費は、用地買収で土地の取得を行った建物・工作物を補償するものであります。

次のページ、126、127ページをお願いいたします。最上段、目の4、橋梁維持費です。予算額4,700万円、前年度比較1,850万円の減額です。主な要因といたしましては、後ほど説明いたします工事請負費の減額によるものであります。

それでは、説明欄をお願いいたします。1、橋梁維持に要する経費。(2)橋梁長寿命化事業。13、委託料では、橋梁長寿命化に伴う詳細設計委託料として、虫沢川にかかる沢入橋の修繕詳細設計、また、法で定められた橋梁定期点検業務委託料を前年に引き続き8橋分計上いたしました。

次に、15、工事請負費では、橋梁長寿命化修繕工事として、今年度に引き続き大寺橋の修繕工事費を計上、また、虫沢川にあります長寿橋の修繕工事及び耐震補強の工事費を計上いたしました。

続いて、項の3、河川費です。目1、河川総務費。予算額108万2,000円です。前年度比較4,815万2,000円の減額です。要因といたしましては、川音川整備工事が完了したものでございます。

説明欄をお願いいたします。1、河川総務全般に要する経費。(1)一般事務経費。11、需用費。修繕料では、町が管理する沢の倒木の撤去や石積みの補修などを行う維持管理修繕費を計上いたしました。

続きまして、項の4、都市計画費、目の1、都市計画総務費です。予算額275万1,000円で、前年度比613万5,000円の減額です。要因といたしましては、都市計画基礎調査が終了したためのものであります。

説明欄をお願いいたします。1、都市計画事務に要する経費。(1)一般事務経費。19、負担金補助及び交付金といたしまして、木造住宅耐震改修工事費補助金や、危険ブロック塀等撤去費補助金などの、減災に向けた補助金を計上させていただいております。

次のページ、128、129ページをお願いいたします。目の2、都市整備事業費です。予算額1億5,563万1,000円で、前年度比較501万6,000円の増額です。要因といたしましては、新松田駅周辺地域まちづくり基本構想策定委託料の総額

によるものです。

説明欄をお願いいたします。1、都市整備事業に要する経費。(1)新松田駅南口駅前広場整備事業。13、委託料では新松田駅南口建物・工作物調査委託料、17、公有財産購入費では用地買収費、22、補償補填及び賠償金では物件損失補償費を計上しております。南口駅前広場整備事業では、用地取得を最優先とし、用地買収費と物件補償費とそれに伴う建物調査費を計上いたしました。続いて(2)まちづくり構想推進事業。13、委託料では、新松田駅周辺ちいきまちづくり基本構想策定委託料として、平成28年度から平成30年度までの3年間の債務負担行為により取り組まさせていただいております事業の3年目の最終年度となり、駅周辺のまちづくり基本構想を策定しております。

次に、目の3、都市排水路費です。予算額100万円の計上となります。説明欄をお願いいたします。1、都市排水路事務に要する経費。(1)施設管理経費、11、需用費、修繕料といたしまして、都市排水路の小規模補修経費を計上させていただきました。

続きまして、目4、下水道費です。下水道事業特別会計繰出金として1億4,920万円を計上しております。これは昭和62年から下水道事業115件分の長期債元利償還金などに充当するためのものです。前年度比較460万円の減額となっております。

続いて、最下段、項の5、住宅費です。予算額4億6,926万1,000円で、前年度比較2億9,465万8,000円の増額となります。要因につきましては、家屋購入費の増額によるものです。

次のページ、130、131ページをお願いいたします。最上段、目の1、住宅建設費。17、公有財産購入費。家屋購入費は籠場地区町営住宅に係るものと、町屋地区地域優良賃貸借住宅の購入費であり、PFI事業として設計、施工、管理、運営まで一つの事業として位置づけさせていただいている中で、工事完了時点で建設工事費相当額を支出し、町が当該物件の所有者となるためのものがございます。以上で説明を終わります。

安全防災担当課長

続きまして、款8、消防費です。予算は2億2,843万円、前年より1,104万4,000円の増となっております。主な要因としましては、後ほど出てまいります

同報無線デジタル化実施設計委託、全国瞬時警報システム新型受信機導入委託を計上しております関係で1,000万ほどふえております。

まず、項の1、消防費、目1、常備消防費です。予算額は1億7,507万円で、前年度より419万4,000円の増額です。これは広域消防事務負担金で1億7,507万円。増額の内容は人件費、消防庁舎再整備事業、消防車両整備事業の伸びが主なものとなっております。

続いて、目2、非常備消防費です。予算額1,821万4,000円で、63万6,000円の増です。消防団の運営に関する経費で、増額の内容としましては、説明欄19の負担金補助及び交付金の4つ目にございます消防団運営交付金242万円の中に、4年から6年ごとに回ってまいります県操法大会交付金が含まれております。なお、30年度は第3分団が出場予定でございます。

次に目3、消防施設費です。予算額789万7,000円で、前年比137万3,000円の増です。

132、133ページをお開きください。主な増額の理由は、説明欄3、消防水利整備事業、15、工事請負費の消火栓整備工事を計上しております。

次に目4、災害対策費です。予算額2,724万9,000円で、484万1,000円の増です。全体で増となっておりますが、大きく減ったもの、ふえたものはございません。まず減ったものとして、説明欄1、一般事務経費、12の役務費の次に、29年度には13、委託料として、土砂災害ハザードマップ作成委託料639万4,000円がありました。新年度にはございません。

ふえた部分ですが、134、135ページをお開きください。説明欄中段から下になります。5の防災無線管理事業の13、委託料の下2つの項目が新規で増額したものです。1つ目は、先ほど申しました防災行政無線デジタル化実施設計委託料として874万8,000円です。これは無線設備規則が改正されまして、現行のアナログの周波数ではその規則をクリアできないために、平成34年11月30日までに新たな規格に適合した無線システムを導入しなくてはならないことになっており、平成32年度までが対象となります。緊急防災・減災事業を活用し、30年度で実施設計、31年・32年度で工事を予定しております。

2つ目が、全国瞬時警報システム新型受信機導入委託、いわゆるJアラート

の受信システムの入れかえに伴う費用として、278万7,000円を計上しております。消防庁より、平成30年度中に整備するよう通知がありまして、新型のシステムでは情報伝達時間の大幅な短縮と、これまで自然災害についての情報が大雨とその他の2種類であったものが、大雨、暴風、高潮、波浪、大雪、暴風雪の6種に分けられます。こちらも緊急防災・減災事業債を活用して整備するものでございます。以上です。

教 育 課 長 それでは、136ページ、137ページをお願いします。款9、教育費。本年度予算額4億7,254万3,000円、対前年度比368万5,000円の増額でございます。

項1、教育総務費、目1、教育委員会費でございます。教育委員会費につきましては予算額93万5,000円、対前年度比3,000円の増でございます。教育委員の報酬が主なものでございます。

下段の目2、事務局費になります。予算額2億9,380万2,000円、対前年度比737万2,000円の増でございます。ここにつきましては職員の人件費が主なものでございます。

次のページ、139ページをごらんください。中段の2、幼稚園、学校教育活動全般に要する経費で、教育委員会事務局及び学校保険に係る経費になります。

この中の1、報酬。幼稚園バス運転手報酬につきましては、松田幼稚園1名に係る運転手の報酬が主なものとなっております。

それから、中段の7、賃金。臨時雇用賃金につきましては、寄幼稚園運転手の賃金となります。

引き続き、次のページ、141ページをお願いいたします。事務局費の職員に係る健康診断、それから教育関係の加盟団体への負担金が主なものでございます。中段の給食費保護者負担軽減措置補助金につきましては、子育て支援の一環として、保護者の負担軽減を図るため、小・中学校の給食費1人当たり月額950円、また、幼稚園の園児の保護者給食費1人当たり月額200円を補助するものでございます。

下段の(4)学校警備員配置事業でございます。児童・生徒及び園児の安全を確保するため、各小・中学校及び幼稚園に配置する学校警備員の経費でございます。

次のページ、143ページをお願いいたします。中段の（7）英語教育推進事業におきましては、外国語指導助手、いわゆるALTを複数配置しまして、授業に入る回数を増加させ、児童・生徒の英語教育の充実強化を図るものでございます。また、新規事業としまして、負担金補助及び交付金で、小・中学生を対象とした英語検定1級から5級の受検者に係る費用の補助を計上しております。これは英語の学習意欲を高め、学力の向上をつなげていく受検料補助事業を創設するものでございます。

中段から少し下、（9）教育施設整備基金積立金に3,000万円を計上しております。

最下段、（11）学校ICT推進事業では、小学校5年生から中学校3年生に配備したタブレットほか、機器の維持管理経費や、授業を効果的にサポートする支援員の配置に係る経費でございます。

次のページ145ページをお願いします。（12）松田中学校・寄中学校統合に係る経費では、平成31年度、中学校の統合に向けた統合準備会及び検討部会に係る経費のほか、両校の閉校等に係る経費を計上しております。

（14）土曜日の教育活動支援事業でございます。松田町では教育委員会が主体となる「寺子屋まつだ」として実施しております。この寺子屋事業は学習機会の拡大と子どもの居場所づくりとして、小・中学校が土曜日等の休日に地域の方の協力により、さまざまなプログラムを実施し、子供たちにとってより豊かな教育活動ができるよう支援するための経費でございます。

下段のほうの3、学校プール管理に要する経費です。（1）小学校プールにつきましては授業で使用するための維持管理委託などがございます。

次のページ、147ページをお願いします。（2）中学校のプールにつきましては、授業のほか、夏休みを開放いたします。そのプールの管理業務委託の経費でございます。中段4、木の学校づくり先導事業に要する経費でございます。主なものとしましては、町立学校校舎建設事業アドバイザー業務に係る経費を計上しております。この事業は今後進めていくべきプロポーザルを出すなどの仕様書等の書類等を確認を行っていただくなど、アドバイザー委託業務を計上しているものでございます。

次に項の2、小学校費、目の1、寄小学校費でございます。予算額1,507万9,000円、対前年度比263万4,000円の増でございます。

1、学校施設の維持管理に関する経費につきましては、用務員の賃金、それから149ページにかけまして施設の法定点検委託などが主なものでございます。児童がより安全で快適な学校生活を送る中で、学力向上と心の育成に努めるための経費でございます。具体的な経費は、先ほど申したとおり、用務員の賃金や校医の報酬などでございます。また、施設の法定点検委託など、法的に係る維持管理経費が計上されております。

下段の2、教育振興事務に要する経費でございます。講師や地域協力者の指導・助言等によって、研究内容の充実と教育活動の進化・発展を図ることを目的とした経費でございます。具体的には講師謝礼、各種研究会資料の代金等経費でございます。

次のページ、151ページをお願いいたします。(2)上段の教科書採択に伴う経費でございます。平成30年度から小学校において特別の教科、道徳として教科化される教師用指導書ほかの経費でございます。

3、給食管理に要する経費でございます。安全で栄養バランスのとれた給食を提供するための経費でございます。給食回数を年間184日で計画しております。

次の目、下段の2、松田小学校費になります。予算額3,639万、対前年度比957万円の減でございます。学校施設の維持管理に係る経費、用務員の賃金等でございます。

153ページをお願いいたします。中段の(2)学習支援事業では、障害のある児童・生徒を介助する介助員や、通常学級でも学習支援を要する児童・生徒に対する支援を行う学習支援員の賃金でございます。

次のページ、155ページをお願いいたします。中段より少し上、20、扶助費。要保護及び準要保護児童就学援助費になります。経済的な理由により、就学が困難な学齢児童・生徒の保護者に対し、就学援助を行うものでございます。

その下の(2)教科書採択に伴う経費でございます。寄小学校と同様に、平成30年度から特別の教科、道徳として教科化される教師用指導書ほかの経費で

ございます。

中段3、給食管理に要する経費でございます。松田小学校は給食回数を年間183日で計画しております。

次の目、下段、項の3、中学校費、目の1、寄中学校費です。予算額1,121万9,000円、対前年度比50万7,000円の減でございます。

155ページから157ページにかけて、1、学校管理運営に要する経費につきましては、学習指導、部活動の充実、学校施設の整備と、学校運営の一層の充実を図るための経費などがございます。用務員の賃金、施設維持管理に係る法定点検委託料などが主なものでございます。

次のページ、157ページをお願いいたします。（3）最下段です。学習支援事業でございます。小規模校であるため、専門性のある県費負担教職員が配置基準により教科によっては不足が見込まれます。このため、学習支援を…支援員の配置を見させていただいております。

次のページをお願いします。159ページをお願いします。上段の2、教育振興事務に要する経費でございます。部活動、道徳教育、健康教育などの充実を図るための経費でございます。報償費、扶助費、負担金補助及び交付金等でございます。講師や地域協力者の指導・助言等によって、指導内容の充実と教育活動の進化・発展を図ることを目的とした経費でございます。具体的には、講師謝礼や各種研究会資料代などの経費でございます。

次の目、中段、目2、松田中学校費でございます。予算額4,552万6,000円、対前年度比711万3,000円の増でございます。増の要因につきましては、工事請負費によるものでございます。後ほど説明いたします。

1、学校施設の維持管理に関する経費。これにつきましては用務員賃金、次のページ161ページにまたがりませんが、校医報償、学習支援員の賃金、施設維持管理の法定点検委託などが主なものでございます。

161ページをお願いいたします。161ページの最下段…あ、161ページの下段のほうです。（4）施設整備事業。15、工事請負費は松田中学校屋内運動場の防水工事に係る経費でございます。それと給食用ダムウェータの修理を実施するものでございます。

中段…あ、ちょっと戻りまして、中段より少し下、3、学習支援事業でございます。こちらにつきましては、障害のある生徒の介助や、通常学級に在籍する学習支援を要する生徒に対する経費を計上しております。

次のページ、163ページをお願いいたします。3、給食管理に要する経費。給食回数を年間176日で計画しております。安全で栄養バランスのとれた給食を提供するための経費で、給食作業員の賃金や給食栄養士業務委託1名を計上させていただきました。

次の目、中段、項4、幼稚園費、目1、松田幼稚園費でございます。予算額2,048万2,000円、対前年度比49万1,000円の増でございます。30年度の在園児の見込みにつきましては96人でございます。年少2クラス、年中1クラス、年長2クラスの計5クラスとなる見込みで進めております。幼稚園の運営につきましては、園長以下、副園長、教諭、補助教諭、運転手、警備員でございます。本年度では園長の報酬、校医報償、補助教諭の賃金が主なものでございます。

165ページをお願いいたします。中段の13、委託料でございます。幼稚園の施設管理や法的に必要な経費を計上しております。また、平成29年度に引き続きまして幼児期の運動能力向上事業委託料として、幼児に適した運動を取り入れていく事業委託を行ってまいります。

167ページをお願いいたします。松田幼稚園費の一番下になります。すいません。下段の、すいません、目の2、寄幼稚園費でございます。予算額263万3,000円、対前年度比186万2,000円の減でございます。30年度の在園児の見込みにつきましては5人でございます。幼稚園管理運営費に要する経費につきましては、就学前教育の推進に向けて、幼児教育等に係る経費や、施設管理における法定点検等の委託が主なものでございます。

169ページをお願いいたします。次に項の5、社会教育費、目、社会教育費でございます。予算額3,147万4,000円、対前年度比281万円の減でございます。減の要因としましては、田代地域集会施設ほか、地域集会施設の耐震補強工事が完了したことによる整備箇所数の減によるものでございます。

目1、社会教育総務費でございます。予算額449万1,000円、対前年度比124万5,000円の増でございます。1、報酬。社会教育委員、社会教育指導員の報

酬。また、人権研修、家庭教育学級としてPTAに委託している業務などが主なものでございます。

次のページ、171ページをお願いします。説明という表記から下に3つ目です。新規事業といたしまして、未来トップランナー育成・応援助成金というものを計上いたしました。これは中・高生を対象に、文化・芸術・スポーツなど、各分野においてトップランナーとして活躍することが期待される生徒の支援を実施するものでございます。予算の積算としましては90万円を計上しております。今後制度設計を詰めていく予定でございます。

次に目の2、青少年教育費でございます。予算額215万3,000円、対前年度比8万7,000円の増でございます。19、負担金補助及び交付金では、毎年度実施しております中学生交流洋上体験研修、青少年交流キャンプ教室を昨年引き続き実施…平成29年度に引き続き実施してまいります。（2）青少年教育推進事業といたしましては、青少年問題協議会委員、青少年指導員の報酬として計上しております。

中段から下、目の3、児童館費でございます。予算額72万4,000円、前年度比77万1,000円の減でございます。減の要因は平成29年度に河内児童センター耐震補強工事を実施して、平成30年度は工事箇所の予定がないものでございます。児童館費につきましては湯の沢児童館、河内児童センターの、2施設の維持管理経費でございます。

目の4、公民館費でございます。予算額1,052万3,000円、対前年度比438万5,000円の減でございます。

173ページをごらんください。地域集会施設等指定管理委託料が主なものでございますが、15、工事請負費につきましては宇津茂地域集会施設の耐震補強工事を計上しております。

次に目の5、図書館費になります。予算額1,219万、対前年度比126万4,000円の増でございます。貸し出し図書の検索パソコン、また、同パソコンの保守委託や貸し出し図書の購入、CDの購入費が主なものでございます。増の原因としましては、平成29年度の途中でリース切れの満了によりまして新規の検索パソコンを契約したもので、平成30年度は12カ月分の計上となったため、増と

なったものでございます。

次のページ、175ページをお願いします。目の6、文化財費でございます。予算額139万3,000円、対前年度比25万円の減でございます。主なものといたしましては文化財保護委員の報酬、歴史講演会、それから民俗芸能伝承教室を実施してまいります。

次に中段、項6、保健体育費、目1、保健体育総務費でございます。予算額1,500万3,000円、対前年度比82万1,000円の増でございます。

(2)のスポーツ振興推進事業のスポーツ推進委員さんの報酬や、次のページ、177ページをお願いします。19、負担金補助及び交付金の町体育協会補助金674万6,000円が主なものでございます。

最後にチャレンジャー事業負担金といたしまして、13万8,000円でございます。この事業は御承知と存じますが、住民参加型のスポーツイベントで、日常的なスポーツの習慣や住民の健康増進を図る機会を提供することを目的として実施しております。平成30年度は5月30日（水曜日）に実施します。このたび対戦相手が決まりましたので、御報告させていただきます。対戦相手は山梨県巨摩郡の南部町というところでございます。この町は山梨県の最南端に位置し、町の中央部に富士川が縦断するように流れ、スギ、ヒノキなど、古くから林業が盛んな町でございます。議員の皆様にも各方面での御参加、呼びかけに御協力をお願いいたします。以上で説明を終わらせていただきます。

参事兼政策推進課長 最後になります、公債費でございます。3億5,668万円、昨年度より663万4,000円ほどふえております。まず元金、公共施設整備等に対する町債の元金でございます。114本でございます。また、利子につきましては113本分を計上してございます。200ページ以降に内訳がございまして、後ほど御高覧ください。

最後に予備費となります。昨年同様2,500万円を計上させていただきました。

以上で平成30年度の予算の内訳となります。よろしくをお願いいたします。

議長 以上で各課の説明が終わりました。ここで暫時休憩といたします。15時より再開をいたします。 (14時41分)